

一 般 質 問 通 告 書

令和5年8月17日

議 会 議 長 様

議席番号 8 番

議員氏名 上 田 聡

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. デマンド交通の導入を	町議選を通じ、地域公共交通の抜本的な改善を求める町民の声が、4年前にも増して強まっていることを実感した。こうした状況の下、2025年度(令和7年度)からの巡回バス運行の見直しまで、いよいよ1年余りと迫ってきた。 次回の改定を見据え、6月議会に引き続き、町民から改善・拡充の要望が多い公共交通に関し、特にデマンド交通に重点を置いて、以下質問をする。 (1) 2017年度(平成29年度)に実施した「利用者アンケート」には、「町内巡回バス方式」と「デマンド方式」どちらが望ましいですか、とデマンド交通に関する質問が設定されていた。 一方、2022年(令和4年)の11月7日から12月9日にかけて実施した「利用者アンケート」には、デマンド交通に関する質問が設定されていない。その意図は。 (2) 2018年(平成30年)の9月3日から9月30日にかけて実施した、巡回バス利用者以外も対象とした「全町民アンケート」にもデマンド交通に関する質問が2つ設定されていたが、今回実施の「全町民アンケート」では設定されているのか。	町長 副町長 住民協働課長 担当課長

8月17日 午前・午後 2時05分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(3) デマンド交通を導入する自治体は、全国でも県内でも年々増えてきており、2022年(令和4年)7月時点では、県内63自治体中、24自治体にまで導入が進んでいる(別紙「図・表等」参照)。 これを踏まえ、町長の見解を伺う。 前回6月議会での私からのデマンド交通の試験的導入の提案に対して、住民協働課からは、「現時点での予定はない」との回答だったが、今でも町としてその考えに変わりはなく、実証運行すら検討しないのか。 (4) 「コンビニクル(英語: Convenient And Smart Vehicle)」は、東京大学大学院設計工学研究室と順風路株式会社が共同開発したオンデマンド交通システムである。2022年の9月議会と12月議会に取り上げた三重県玉城町をはじめ、県内では鴻巣市や鳩山町など、2023年8月現在、全国で28自治体(実証実験5地域含め78地域)、県内では13地域で導入が進んでいる(別紙「図・表等」参照～「順風路株式会社」HPより～)。 そこで、デマンド交通に関する調査・研究や先進地域への視察等の進捗状況を確認する観点から伺う。 「コンビニクル」等のオンデマンド交通システムについては、どの程度まで調査・研究が進んでいるのか。東京大学大学院の当該研究室等とのコンタクトの有無も含め明らかに。	

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(5) 前回２０２０年度（令和２年度）の改定にあたっては、これに先立つ２０１９年（平成３１年）の２月に「杉戸町次期地域公共交通システム調査研究報告書」が「資料編」とともに作成・発行された。これらの中では、県内デマンド交通の実施状況や巡回バスとデマンド交通との比較、ＡＩ運行バスシステムの検討、県内デマンド交通の予算・決算状況等１０ページ以上を割いてデマンド交通に関する調査・研究内容を報告している。 以上を踏まえて伺う。 次回２０２５年度の見直しに合わせて同様の報告書を発行するとなれば、２０２４年の２月には作成・発行するスケジュールとなるわけだが、同様の報告書は作成する予定なのか。 また、デマンド交通に関する最近の研究成果も盛り込む予定なのか。	